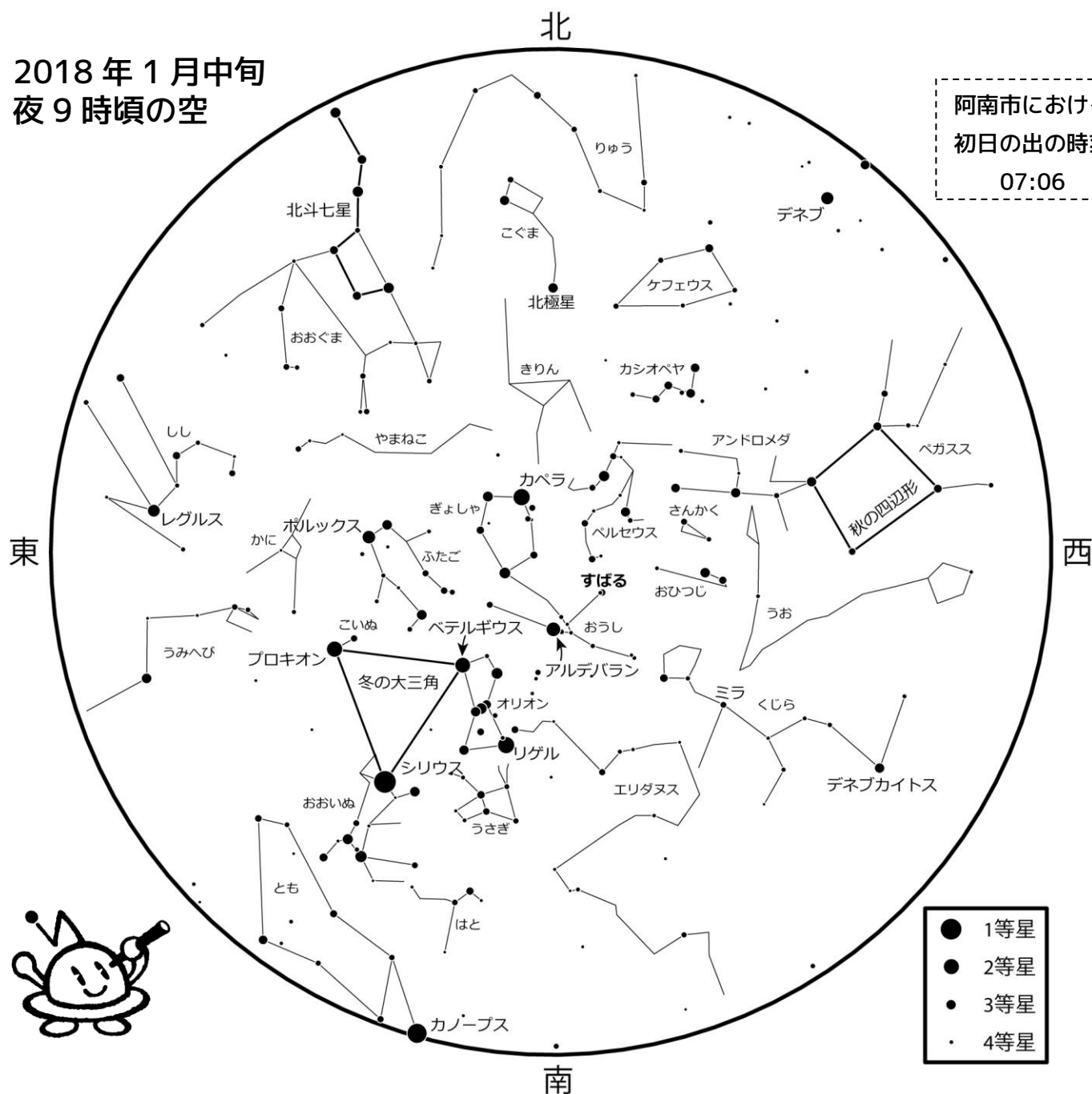


阿南市科学センター 1月の星空案内

2018年1月中旬
夜9時頃の空

阿南市における
初日の出の時刻
07:06



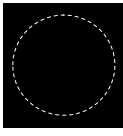



冬の夜空には明るい1等星たちが7つも輝き、冬の澄んだ空気と相まって大変きらびやかな夜空を楽しむことができます。冬の星座の代名詞オリオン座には赤い星ベテルギウスと青白い星リゲルが輝いています。日本では歴史に登場する平家と源氏の旗色になぞらえ、ベテルギウスのことを平家星、リゲルを源氏星と呼ぶこともあります。ちなみに、オリオン座の近くには全天で一番明るいシリウス（おおいぬ座）、そしてプロキオン（こいぬ座）が輝き、ベテルギウスとあわせれば冬の大三角を形作ることができます。その他、アルデバラン（おうし座）、カペラ（ぎよしゃ座）、ポルックス（ふたご座）も明るく目立つ星なので、是非探してみてください。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

名称	満月	下弦の月	新月	上弦の月
形状				
見える日	1月2日, 31日	1月9日	1月17日	1月25日

◇ 惑星について

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	上旬、明け方東のごく低空で見える。	太陽に近いため観察できない。	夜明け前、南東の空で見える。1月7日は木星と超接近して並ぶ。	夜明け前、南東の空で見える。	下旬から夜明け前に東の空で見える。
明るさ	約0等	—	約1.4等	約-2等	約0.5等

◇ おすすめの天文現象

【約3年ぶりの皆既月食】

2018年1月31日の夜は日本で約3年ぶりに皆既月食が起こります。20時48分に部分食がスタートし、21時51分には皆既食となります。皆既食になると、月は赤銅色（しゃくどういろ）と呼ばれる赤黒い色に変化します。23時8分には皆既食が終わり、翌日0時11分には月食が終了します。2018年は7月28日にも皆既月食がありますが、午前5時22分に皆既食になり、そのまま西の空に沈みます。そのため、今回の皆既月食はお天気さえ良ければ、多くの人たちに楽しんで頂くことができるでしょう。なお次回一般の方々が観察しやすい皆既月食は2021年5月26日になります。

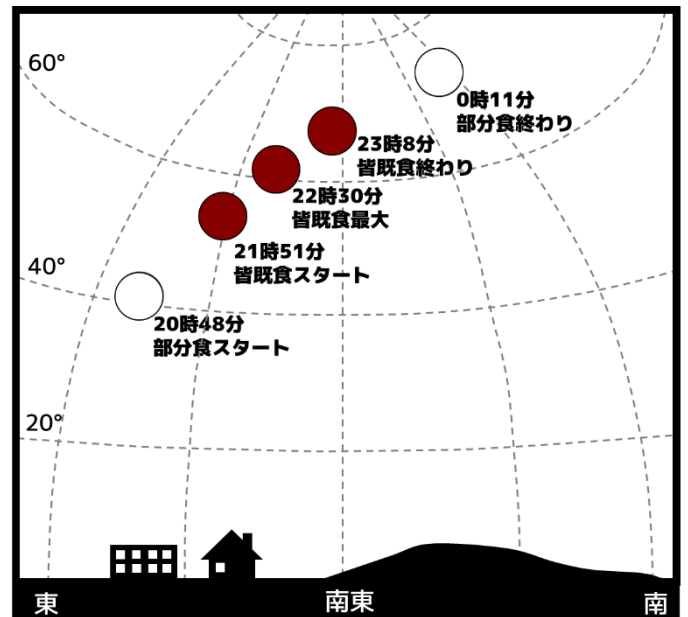


図1: 2018年1月31日の皆既月食の行程。

【くじら座のミラが明るい】

1月中旬ごろ、くじら座のミラの明るさが極大期になります。ミラは約332日の周期で明るさが変化する変光星と呼ばれる天体の代表格です。明るいときは約2~3等星、暗いときは約9等星になり、じわじわと明るさが数百倍近く変化します。くじら座は秋の星座ですが、前半夜であればまだ十分観察できるので、ミラが見えるかどうか是非確かめてみてください。

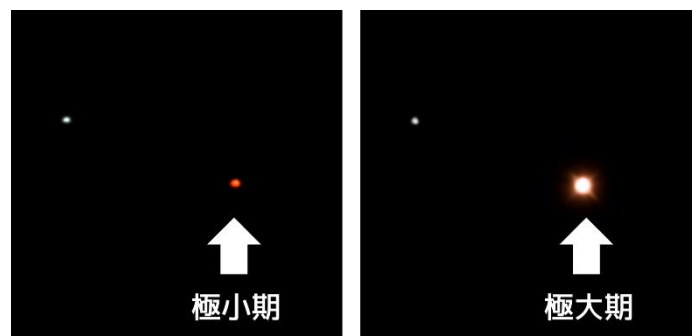


図2: 明るいとき(右) 暗いとき(左)のミラ。